

令和7年5月30日

事務局連絡

1. ご支援に対するお礼

先日、諸物価高騰に伴う経営圧迫の現状をご報告申し上げ、未使用切手や封筒、クリヤーホルダーなどのご寄付を募りましたところ、さっそく多数の会員様から品物や、ご芳志を賜りました。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

2. 随筆春秋第64号について

第64号の原稿締切は6月15日(日)です。発行、発送開始は10月5日(日)の予定です。1つの号に掲載できる作品は原則として1作品だけです。

掲載原稿は句読点、改行、空き行を含めて400字詰めで5枚半まで、字数にして2,200字までが会費の範囲です。

字数が少ない分には、たとえ原稿用紙1枚でもお受けします。2つ以上の作品を合わせても5枚半以内で収まるという場合、題名は1つだけれど、小見出しを2つつけるというふうに工夫をお願いします。

2,200字の会費の範囲を超える場合は、超過掲載料が必要です。超過掲載料は、

2,201字から2,600字までが2,000円

2,601字から3,000字までが4,000円

3,000字から3,200字までが6,000円

3,201字を超える作品は掲載できません。原稿用紙8枚以内で納めてください。

今号より原則的に会員への発送はお一人様1冊になります。あとは全ページのPDFを送信させていただきます。送信時に使用するメールアドレスを、掲載用原稿の表紙などを書いてお知らせください。

ただし、自分はパソコンもスマホもやらないという会員様には、ご意向をお伺いした上で、従来通り2冊お送りします。

あるいはそもそも2冊もいらず、1冊だけでよい、PDFも必要ではないという会員様もいらっしゃると思いますが、これらのご希望も書いてお知らせください。

追加で随筆春秋誌をご希望される場合は、今まで通り1冊1,200円（送料無料・消費税込）を申し受けます。追加希望は、あらかじめ冊数をお知らせください。

3. 第31回随筆春秋賞募集についての募集要項は別紙の通りです

《重要》会員が応募する場合の注意点を申し上げます。

- ① 外部からの応募者に対して不公平になりますので、事前に随筆春秋講師の添削指導を受けた作品を応募しないでください。
- ② 応募要項をお守りください。特に表紙をお忘れなく。
- ③ 応募して落選した場合、そのまま第65号に落選した作品を掲載したいとご希望されても、審査の進行状況によって原稿の返却が間に合わない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

以上、よろしくお願いします。